

# ふくろう新聞

## 山崎榮子さんの里帰りの里帰り



山崎さん(昭和二年生まれ)は平成15年8月9日「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」で被爆者代表として「平和への誓い」を手話で述べられた方です。当時76歳の山崎さんも90歳に近くなりその後、長崎のグループホームに入居されましたが、さらに認知症が進み毎日ふさぎ込んでおられました。見かねたろうあ協会、手話通訳者の仲間たちの尽力により、昨年9月にふくろうの郷へ入居されたのです。それからは、見違えるように明るくなる笑顔が絶えない日々の中、見学者に原爆の怖さを語り「平和の誓い」を語られています。

そんな山崎さんの里帰り  
と講演会を長崎のろうあ  
協会に提案、現地では通訳  
者などと実行委員会が結  
成され6月18日と19日に  
実現しました。会場の長崎  
原爆資料館ホールには330  
人もの満員の参加を得、山  
崎さんはふくろうの郷で  
の様子を語られました。第  
二部の講演は、山崎さんが  
再び暮らせる長崎を創る  
うとの呼びかけでした。

この二日間の様子は長  
崎テレビが6月21日に放  
送し、長崎新聞・毎日新聞  
でも報道されました。同行  
した入居者、職員は普段と  
は違った山崎さんの一面  
に「すごい人だ」と圧倒さ  
れた二日間でした。  
(生活援助係 石黒・中村)

<発行>  
特別養護老人ホーム郷会  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会  
洲本市中川原中川原28番地1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551  
ホームページ  
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

### ▼ふくろうの郷での様子を語る



▲テレビ長崎の取材を受ける山崎様



今年もまた、ブルーベリーの木が2本やってきました。手話サークル三原の堤きよみさんが、ブルーベリーの実がなる期間、大きな鉢に植わった木を持ってきてくださいます。入居者も職員も大喜びで実を摘んでは口に運んでいる姿が見られます。堤さん、ありがとうございます。

### 神楽町土地購入に関して 地域意見交換会

6月3日、建設予定地の東隣の神楽市営住宅の集会所を借りて、住民の方々の意見交換会を開きました。まちづくり協議会の会長や、神楽住宅の自治会長など14名の皆さんの参加をいただきました。理事長の挨拶、法人の理念・建設についての説明の後、皆さんからのご質問やご意見をいただきました。「何故この土地を選んだのか?」「買う前に話を持ってきてほしかった」など辛口のご意見から始まって、「建設が決まっている以上は神楽住宅の住民としては仲良くしたい、「草むしりなど手伝ってもらえるか?」「これからの地域住民との交流計画は他の事業所と重ならないようにやって欲しい」



▲たくさんの意見をいただいた意見交換会

(神戸事業準備室 眞木崇江)

# ふくろう物 政田さんご夫婦

どうしたら落ち着いてもらえるだろうかと悩んだ職員は、元気な時に聴覚障害者団体の婦人部活動で頑張っておられたことを知り、きくゑさんに会議への参加をお願いすることにしました。ふくろうで持たれている様々な会議への参加を誘い、資料も前に置き「大事な会議なので最後まで座っててください」と伝えます。会議の様子を真剣なまなざしで見、うなずいたり、「そうそう、分かる、色々あります。」など発言され、熱心に会議に参加されています。

政田勉さん、きくゑさんご夫婦は大阪でお二人で暮らしておられましたが、ご主人の病気や奥さんの認知機能が低下してきたため、家での生活が困難となりました。丁度そんな時1月の兵庫県聴覚障害者協会の新年大会に娘さんが参加されており、ふくろうの郷に入居者募集のチラシをご覧になりました。手話で話せる環境で落ち着いて生活して欲しいという娘さんの思いから入居されることになりました。

入所されて以来、奥様は家へ帰りたいとの願望から落ち着きなく、何回も施設からの外出を試みられ、目も話せない状況が続いています。これからもふくろうの郷でご夫婦の役割を考えながら末永く暮らしていただ

るように支援していきたくと考えています。  
(生活援助係 船越・米田)



▲2人そろって食事を楽しまれる政田さんご夫婦

お詫びと訂正  
6月号の「ふくろう物話」の魚住さんのお名前の漢字が間違っていました。正しくは魚住小夜子さんです。  
お詫びして訂正いたします。

## 法人業務の透明性を 評議員会で審議される

6月10日(土)、5月27日(土)の理事会に引き続き、定時評議員会が開催されました。

今年度より評議員は12名となり、うち6名が新たに

就任された方々です。今回の評議員の特徴は、中川原にスパートインターができるのを起爆剤に地域の活性化をともに推進していくために地元中川原から2名、神戸の新しい拠点づくりを見据えてNPO法人神戸ろうあ協会から1名、そして近畿の聴覚障害者関係の社会福祉法人の人材交流として社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会から1名が選出されたことです。この新しい評議員によつて、2016(平成28)年度の事業報告、決算報告、加えて神戸の新しい拠点づくりのための土地、建物を基本資産に加えた定款変更、そして新しい理事の選任について審議が行われました。

事業報告並びに決算報告では、「人材確保のためにどれくらいのお金を投じているのか」とか、ホームページの充実に対する意見がありました。  
定款変更、理事の選任について、評議員会が終了しました。評議員会終了後、続いて理事会が開催され、評議員会によって、理事、業務執行理事が選定されました。  
今回より選定された「業務執行理事」とは理事長以外の理事であつて法人の業務を執行させるために選定した理事のことです。理事長には大矢暹現理事長が、業務執行理事には淡路ふくろうの郷の辻愛子施設長と中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンターの濱田良介管理者が選定されました。今後、「理事長」及び「業務執行理事」は3か月に1回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければなりません。ここでも法人業務の透明性が求められています。

(法人事務局長 橋詰恭子)

### 新会長に 黒崎時安さん(89歳)

6月14日(水)13時半から2017年度淡路ふくろうの郷自治会総会を行いました。長田道子さんが議長を担い、職員援助のもと、2016年度事業報告・決算、2017年度の事業計画・予算の報告を行いました。総会資料をプロジェクトに映し、ゆっくり報告を行いました。採決は満場一致で承認されました。2017年度の自治会役員についてですが、吉見輝子さんが会長を黒崎さんに譲りたいとのことで、黒崎さんに

### ふくろうの郷自治会総会～事業計画や役員改選～



確認したところ快く受け入れてくれました。今後、毎月入居者懇談会で入居者の意見を出してもらいながら、ふくろうの郷でのよりよい生活を目指していきます。(生活援助 足立達也)

#### 新しい役員は

左記のとおりです。

会長 黒崎 時安  
副会長 吉見 輝子  
会計 福島 豊子

#### 花木ユニット代表

北川他久美・岸本久美

#### 星海ユニット

松崎恵子・旅田澄江

#### 月川ユニット

北風章子・勝楽佐代子

### 平成二九年度全国高齢 聴覚障害者福祉施設 協議会総会開かれる

6月26日(月)～28日(水)に大阪ベイタワー及び弁天町のRC生涯学習センターにて、平成29年度全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会の総会及び施設長・相談員会議が開催されました。

### 全国8法人10施設が一同に 会し

当協議会は、昨年度から高知県の静幸苑(聴覚障害者養護老人ホーム)を加えた、8法人10施設からなる高齢聴覚障害者施設が連携を図り、高齢聴覚障害者福祉の推進を目的に事業活動を行っています。

今回の総会では、平成28年度の事業報告・決算及び平成29年度の事業計画・予算が採用されました。これまで、介護職員研修として持ち回りで介

年度から交換実習に変更となりました。

また、東日本大震災を契機に全国の高齢聴覚障害者

### 待機者減による入居者の確保の困難さ

施設を知っていたくため「手話で生きる」を高知県の静幸苑に加え、新しいものを作る事になりました。

各施設からは、職員の確保と待機者の確保、運営の厳しさについての課題が多

### 職員の確保について

特に特養では、人材不足が大きな課題となってい

訪問、就職フェアへの参加、施設見学会などを開催しているが、必要数が確保でき

29年度の事業計画・予算が採用して、職員を確保しているが、必要数が確保できないとの報告が多く出

(相談員 竹原 哲章)

行われていましたが、平成30年度の事業計画・予算が採用して、職員を確保しているが、必要数が確保できないとの報告が多く出

率の低下から運営が厳しく



### 淡路聴覚障害者 相談支援事業所とは

平成19年10月から県の指定を受けて相談支援事業所を開設しました。淡路島内の相談支援事業所は12ヶ所あり、障害児・者の「身体・知的・精神」の3障害の相談に応じています。当事業所も「聴覚」と名称がついていますが、もちろん3障害の相談に応じています。平成24年から福祉サービスを利用される方や学校入学時等、ライフステージの節目を迎えられる方には、相談支援専門員がサービス利用計画書を作成することになりました。成人の方と比べると、幼少期は特にライフステージの節目が多いこともあり、必然的に相談員との関わりも多くなってきました。当事業所では、51件の相談数で約半数は

### 安心して通園・通学できるように

児童の相談を担当しています。

Ａちゃん（5歳・知的障害）出生後の健診等で発育についての悩みを早期から保健師さんが関わり、発達状況に合わせた支援や助言、評価を受けたため児童発達支援事業所に通所することをきっかけに、当相談支援事業所との関わりがスタートしました。

身近に同障の子を持つ母親との繋がりもあり、情報交換しながら療育手帳はスムーズに取得されました。一方、母親の職場復帰に向けて、保育園での加配の先生をつけてもらいたいということで、相談員が中心となって保育園等と連携しながらケース会議を重ね、配慮され、安心して通園されています。

### 就学前の学級選択は慎重に

現在は保育園の年長児クラスに在籍し、来年のライフステージの節目である就学に向けての準備を進めています。夏頃までには、交流学級・支援学級・通級希望などといった学級の選択をどうするのかとといった判断が求められます。Ａちゃんにとって最適の環境で学校生活を過ごすために、保護者と多職種の関係機関（保育園・小学校・教育委員会・療育機関・保健師・相談員等）が関わり、保護者の想いや悩みに対して丁寧寄り添いながら会議を積み重ねています。就学後についても、発達段階に応じた教育や発達保障のあり方について、また、学校を

## 希望する暮らしを一緒に考える相談支援専門

卒業後どんな大人になってほしいか、社会に出ていくために今必要なことは何かを見据えた支援をチームで相談しながら地域の暮らしを支えています。

（相談支援専門員 瀬田 栄美）

## 聴覚障害児と保護者の交流会



みなさんこんにちは！淡路島に住んでいる耳の聞こえない・聞こえにくいお友達と集まって、みんなで♪輪っはっは♪って楽しい時間をすごしませんか？今回は、みんなと一緒にシャボン玉遊びをします！おやつにかき氷も用意しますよ。

お家の方はもちろん、きょうだいの皆さんもいっしょに参加してくださいね。

\*準備の都合がありますので、下記問合せ先『淡路聴覚障害者センター』まで、

お問い合わせはFaxでお申込み下さい。申込み締め切り：平成29年8月10日（木）

日時：平成29年8月19日（土）  
13時30分～15時30分（受付13時～）

場所：中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター  
洲本市中川原町 中川原222-2

参加費：無料

問合せ：淡路聴覚障害者センター  
☎ 0799-24-3850  
Fax 0799-26-1175



▲訪問に来て契約した  
等体験談を話す参加者

## 気づかないうちに詐欺被害遭ってませんか

6/10 第2回社会生活教室 洲本市健康福祉館

したら、4回の定期購入が条件になっており2回目以降は定価販売となっていたなど通信販売はクーリングオフもできないので、購入時には十分注意しましょう」と浜野氏。午後からのグループワークでは「強引に勧められ家の修理をしてもらい家族に叱られた」「宝石を安く売ってしまった」など、最後に参加された佐藤さんからも、「知らない人が来たら、絶対家に入れないようにしよう」と話されました。

第2回社会生活教室は、兵庫県淡路県民局消費者生活センターの浜野淳子氏に「悪質業者に騙されるな2」のテーマでお話頂きました。

CMでもよくある健康食品の「お試し価格」で一回だけと思いつい注文中

# お知らせ 第2回わくわくフリーマーケット in 中川原

日時:2017年 7月23日(日) 10時~16時

場所:中川原地域ふれあいセンター建物内

内容:流しそうめん、金魚すくい、スーパーボール

☆10時~、13時~ お子様(小学生まで)限定 先着50名かき氷無料券配布

☆14時~ピンゴ大会スタート! **友人、知人に声かけ参加をお願い致します。**



## 中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



〒656-0002

兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2

TEL 0799-28-0990

FAX 0799-28-0992

## 第2弾 特産玉ねぎ (ターザン)生産直売!

申込期間:6月中旬~7月

10kg入(1箱) 2,000円

送料・箱代 900円

申込でお待ちしております。

TEL 0799-28-0995

FAX 0799-28-0992

### 玉ねぎ収穫が始まる

おのころの家

「おーい、これ見て」と直さんが立ち上がりみんなに伝えます。手のひらが隠れる大きさの玉ねぎを持つてすごい笑顔、「こっちゃんも大きいぞ」とあちこちで笑顔が出ます。昨年までは地域農家の大きく立派な玉ねぎを見て羨ましがっていましたが、今年は誇らしげなみんなの顔です。

昨年9月に種をまき、苗を育て11月から苗植え、肥料まき・草取りなど様々な作業をし6か月かけてやっと育った大きな玉ねぎです。育て上げた成果が今笑顔。今回は初めて収穫が早い早生を作り5月連休明けから収穫し12トンの収量で販売しました。そして今は次の中生「ターザン」品種の玉ねぎを収穫中。出荷業者から玉ねぎ掘り機と拾い機



玉ねぎ掘り機と拾い機を借り、収穫作業をしている。

台を借り連日収穫作業が続いています。みんなたくたくと目なりに頑張っています。収穫した玉ねぎは玉ねぎ小屋で自然の風を利用してゆっくと乾燥させます。このことで熟成がすすみ甘味がより一層増していきます。熟成した甘さと柔らかさの淡路特産玉ねぎを是非味わってください。

(藤崎・中島)

## 建設推進委員会のオルグお願い

4月1日の決起集会の後、再開したハッスル神戸は、その後、月1回、各区の情報交換をしています。サークル内でバザーなどを始めている地域もあります。全体として建設推進委員会のオルグを受けている状況で、その後、外に向けての計画が始まります。支建設推進委員会では貸し出し用の「横断幕」と「幟」がその出番を待っています。神戸ろうあハウスとしては、作業所とデイサービスの合同街頭募金を計画しており、今は当日、晴れることを祈るばかりです。(神戸ろうあハウスデイサービス 眞木)



## おのころ屋 「トライやるウィーク」

5月22日(月)から5月26日(金)までの5日間、洲本市立青雲中学校の女子生徒を1名、受け入れました。初日はクッキーの袋のシール貼りなどの軽作業をしてもらい、2日目からは接客を経験してもらいました。利用者

さんとのコミュニケーションが心配されましたが、利用者さんが身振りなど、自ら工夫して一生懸命に教えていただきました。始まるまでは色々心配されましたが、利用者さんにとっても良い経験になった5日間だったと思います。(山田)

# 続々・地域を語る 中川原むかし話

かるた 口説き NO34

北岡 肇

## み

### 水の大師、 景色の美しい 淡路の名所

明石海峡大橋を渡り、国道28号線を南下、左に大阪湾をはさんでかすかに関西国際空港や離着陸する飛行機、また対岸の泉州、河内、摂津を遠くに眺め、約20キロ余り、淡路市から洲本市街へと向う中程に、「水の大師の名勝」が目にとまります。

以下は同町厚浜にお住まいの畑田たかし氏（故人）の記述「水の大師の由来」から紹介いたします。

①景勝地、水の大師付近の海岸美を、古人は「全淡隋一の景勝地で、仰げば青々とした緑の山々が峯を連ね、羊の腸のようである。伏してみれば、千年も変わらぬ砂浜巨巖散在して海中よりそびえ、岩に砕ける銀波は白玉となって躍る。茅渟海（ちぬのうみ）を隔て

て紀、泉、河、攝、播の5州を一望裡に指さして、呼べば答えてくれるほどに見え、霞んでは墨絵のようで、おのずから爽快美をかんじさせてくれる」と称え、その海岸線の美しさは広く世に知られています。

②厚浜水月庵 嵯峨天皇の御代、弘仁年間（820年）のこと

弘法大師が四国巡礼の途中、厚浜海岸に立ち寄られた。暑さきびしい砂浜で、非常にのどの渇きをおぼえられたので、風光明媚なこの土地（水の大師付近）を選んでお休みになった。

しかし巨巖、豊々（るるい）とそびえ、泉水のないところだった。弘法大師は月輪観（瞑想）をもって巖窟を加持祈禱したまうと、不思議にも岩の間から霊水が湧き出した。以来、旅人の憩いの場となり、いつのまにか観音堂のことを「庄浜水月庵」ともいわれるようになった・・・

③里人は岸壁に大師像を彫刻したと伝えられ、水の大師像は「親知らず」というほど難儀な道であったとので交通安全、海上安全の守り所として島民の信仰をあつめたのである。（南淡流浪記は省略いたしました）

## 7月・8月 ふくろうの暮らし



- 7/16 ふくろうの郷 そうめん流し
- 7/23 中川原わくわくフリーマーケット  
(中川原高齢者障がい者地域ふれあいセンター内)
- 7/25 地域を歩く (大照寺のきゅうり加持)
- 7/27 里帰り支援 (吉見輝子さん 和歌山市)
- 8/7 ふくろう理容店
- 8/8 ふくろう大学書道講座
- 8/5 淡路島祭り踊り大会・地域交流会手話講座
- 8/15 ふくろう大学料理講座
- 8/18 ふくろう大学ちぎり絵
- 8/19 地域交流会手話講座
- 8/22 ふくろう大学絵手紙講座

## ふくろうの郷見学予定

- 8月 7日(月) 長崎県長寿社会課様 (1名)
- 8月 28日(月) 佐用町サンホームみかづき様 (7名)

## 福祉の総合就職フェア inHYOGO (6/24)

神戸国際展示場 県社協主催

就職フェアに参加しました。4人の来談がありました。職員・入居者の笑顔の写真やふくろう学びあい文庫を展示し、法人の仕事を紹介、興味深く聞いていただきました。



手話を使って仕事をしたい、と会場が開館されると同時に訪れた専門学校生

## ひょうご介護サポーター研修

(介護業務1日体験講座) 参加費：無料

8月12日(土)・8月18日(金)

(午前10:00~午後4:30)

内容：介護実習・食事介助・施設見学等

☆この事業はひょうご介護サポーター研修助成金を受けて実施します。参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

## 職員募集

生活援助員・調理員・ケアマネ・農作業援助員

第2回採用試験 9月30日(土)

お問合せは 淡路ふくろうの郷総務まで  
TEL 0799-25-8550 FAX 0799-25-8551